

	校区	場 所	現状と対応策案など	改善箇所
1	住用小	住用小前信号	小中学校前に2箇所連続して信号がある。緩やかな下り坂のカーブということもあり、信号の見落としなどで信号を無視する車が見られる。朝は通勤などでスピードを上げる車が多い。信号の有無を知らせる看板の設置などをしていただいているが、 <u>信号無視の取り締まりや見落としを防ぐための更なる対策をお願いしたい。</u>	・ 信号機を 1 機撤去予定 ・ 取り締まり強化
2	奄美小	小俣町集会所近くの橋（交差点）	春日保育所方面から小春通りへ合流する交差点で一時停止。 左側に児童がいる場合、橋げたの陰になり見えないことがある。 こちらが一時停止なので、止まったと思い飛び出してくる児童がいた。 橋げたのところが低くなっているため、低学年児童などは見えない状況。 <u>学童通行注意などの看板がつけられないか。</u>	・ 路面への「とまれ」のシール検討 ・ 注意喚起の看板設置を検討 ・ 外側線の引き直しを検討 →引き直し完了済（令和6年7月） ・ 登下校時の歩道ルートについて、児童へ指導（学校へ依頼）
3	金久中	奄美博物館前道路	歩道がなく、前方のフェンスが視界をさえぎっているため、左から侵入してくる車と歩行者が接触する危険性がある。以前、ここで交通事故があった際、地域住民が警察へカーブミラーを付けてほしいと相談したが、設置されなかった経緯がある。 事故防止のために、 <u>写真中央部の電信柱付近にカーブミラーをつけてほしいとの要望が挙げられている。</u>	・ 外側線の引き直し、中央線の追加を検討 →外側線及び中央線の引き直し、追加完了済（令和6年7月）
4	小宿中	小宿中央公園近くの橋付近	横断歩道を渡り始めてから、急に自動車等が迫ってくる可能性があるため、現在は、毎朝学校長が横断旗を使って、自動車等の通行を一時停止させて、生徒を横断させている。 <u>自動車等が確認できるミラー等が設置されれば、危険度は下がると思われる。</u>	・ 付近の道路について時間指定を検討 ・ 付近の家にある植木の伐採について依頼を検討
1	笠利中	笠利小へ向かう道路入口付近	カーブミラーはあるが、カーブが急で、車と歩行者、ともに見えにくい上、通学路と知らずに徐行せずに走る車が多い。 <u>通学路と分かるような看板や標識、道路表示等、設置してほしい。</u>	・ 「スピード落とせ」等の看板設置を検討 ・ 付近の家にある植木の伐採について依頼を検討
2	宇宿小	宇宿生活館付近十字路	生活館下の十字路は下り坂で、また停止線も消えかけており、車・児童ともに事故が起きやすく危険である。 <u>どちらが止まるのかしっかり停止線を書き直してほしい。</u>	・ 路面への「とまれ」のシール検討 ・ 路面へ「スピード落とせ」の表示、路面の色塗り等を検討 ・ 注意喚起の看板設置を検討
3	手花部小	平線分岐点（T字路）	節田方面から来る車両の見通しが大変悪い。一旦停止場所ではあるが、大変危険である。自転車を通る児童が死角で見えずに、危ない場面がある。できましたら、 <u>点滅信号等の設置を望む。</u>	・ 路面への「とまれ」のシール検討 ・ 停止線の位置を変更、ミラーの角度調整 ・ 付近の家にある植木の伐採について依頼を検討

通学路における危険箇所報告書

学校名	奄美市立住用小学校
点検日	令和6年4月9日(火)
点検者 (参加者全員記入)	学校職員:全職員 PTA: 地域の方等:
危険箇所 (点検時に撮影した写真を添付する)	ア 学校前の信号 イ 山間の歩道 ウ 花勝の脇道     
危険箇所の状況 (予想される危険事例や要望事項等) ※ 予算を伴うものは、すぐには改善できないものがあります。	ア 学校前の信号 小中学校前に2箇所連続して信号がある。緩やかな下り坂のカーブということもあり、信号の見落としなどで信号を無視する車が見られる。朝は通勤などでスピードを上げる車が多い。信号の有無を知らせる看板の設置などをしていただいているが、信号無視の取り締まりや見落としを防ぐための更なる対策をお願いしたい。 イ 山間の歩道 山間校区に向かう途中に、歩道がない場所がある。カーブが続き見通しも悪くここを通る際は安全確認を常に行っている。歩道とガードレールの設置をお願いしたい。また、大型のトラックなど工事関係の車両の走行が目立つ。さらに、歩道がコケで滑りやすくなっていたり、山側からの草が覆い茂っていたりする。 ウ 花勝の脇道 集落に入る道のガードレールが切れており、脇見歩行をしているとガードレール下の水路に落ちる可能性がある。現在4名の児童が、花勝集落に住んでいる。

通学路における危険箇所報告書(再送版)

学校名	奄美市立奄美小学校
点検日	令和6年4月 23 日(火)
点検者 (参加者全員記入)	学校職員:馬場,西村 PTA:三腰,池島 地域の方等:満田工業社長
危険箇所 (点検時に撮影した写真を添付する)	
危険箇所の状況 (予想される危険事例や要望事項等) <u>※ 予算を伴うものは、すぐには改善できないものがあります。</u>	春日保育所から小春通りに合流する交差点(竹山建設前) 1 春日保育所方面から小春通りへ合流する交差点で一時停止 2 左側に児童がいる場合、橋げたの陰になり見えないことがある 3 こちらが一時停止なので、止まったと思い飛び出してくる児童がいた 4 橋げたのところが低くなっているため、低学年児童などは見えない状況 ※ 学童通行注意などの看板がつけられないか。



通学路における危険箇所報告書

学校名	奄美市立金久中学校
点検日	令和6年 4月 30日(火)
点検者 (参加者全員記入)	学校職員:河野克純, 濱崎博通 PTA:全保護者へのアンケート 地域の方等:
危険箇所 (点検時に撮影した写真を添付する)	(1)   (2)  
危険箇所の状況 (予想される危険事例や要望事項等) ※ 予算を伴うものは、すぐには改善できないものあります。	(1) 奄美博物館前道路 歩道がなく、前方のフェンスが視界をさえぎっているため、左から侵入してくる車と歩行者が接触する危険性がある。以前、ここで交通事故があった際、地域住民が警察へカーブミラーを付けてほしいと相談したが、設置されなかった経緯がある。 事故防止のために、写真中央部の電信柱付近にカーブミラーをつけてほしいとの要望が挙げられている。 (2) 臨港道路「本港佐大熊線」奄美海上保安部前交差点 全線開通し歩道も整備されているため、通学路の変更を考えているが、上記の交差点は通行量が多いわりに信号機がない。横断歩道は設置されているが、生徒の横断時に危険である。

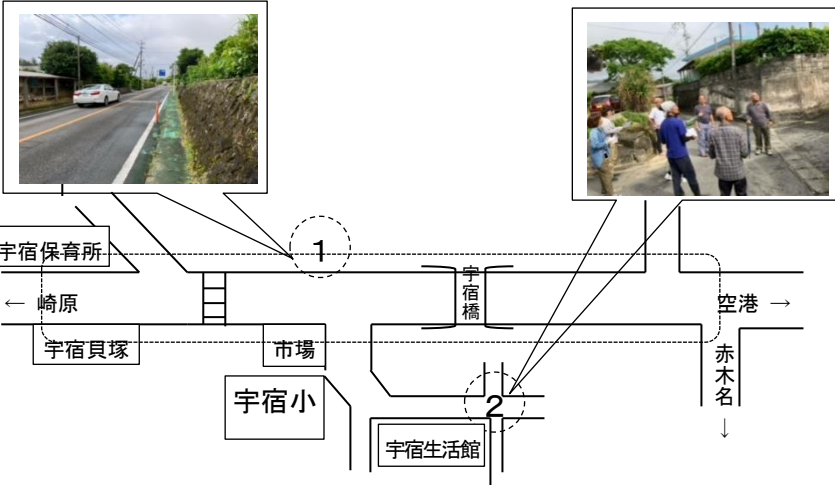
通学路における危険箇所報告書

学校名	奄美市立小宿中学校
点検日	令和 6年 4月 30日(火)
点検者 (参加者全員記入)	学校職員：教頭 小 山 繁 P T A：副会長 荒 田 朋 寿 地域の方等：学校評議員 岡 山 嗣 夫
危険箇所 (点検時に撮影した写真 を添付する)	【写真1】  【写真2】 
危険箇所の状況 (予想される危険事例や要望事項等) <u>※ 予算を伴うものは、すぐには改善できないものがあります。</u>	・ 生徒は【写真1】の南側から北へ、横断歩道を渡って登校する。 ・ その際、【写真2】の北側奥(【写真1】の右奥)から走行してくる自動車やバイクが見えづらい。 ・ 横断歩道を渡り始めてから、急に自動車等が迫ってくる可能性があるため、現在は、毎朝学校長が横断旗を使って、自動車等の通行を一時停止させて、生徒を横断させている。 ・ 【写真2】の右奥から走行する自動車等が確認できるミラー等が設置されれば、危険度は下がると思われる。

通学路における危険箇所報告書

学校名	奄美市立笠利中学校
点検日	令和 6年 4月 26 日(金)
点検者 (参加者全員記入)	学校職員:屋井 裕仁 淵脇 哲也 PTA:濱地 龍介 地域の方等:
危険箇所 (点検時に撮影した写真を添付する)	 
危険箇所の状況 (予想される危険事例や要望事項等) <u>※ 予算を伴うものは、すぐには改善できないものがあります。</u>	カーブミラーはあるが、カーブが急で、車と歩行者、ともに見えにくい上、通学路と知らずに徐行せずに走る車が多い。 通学路と分かるような看板や標識、道路表示等、設置してほしい。

通学路における危険箇所報告書

学校名	奄美市立宇宿小学校
点検日	令和6年 4月21日(日)
点検者 (参加者全員記入)	学校職員: 前里いずみ(校長), 上村修(教頭) PTA: 前島勇太(会長), 橋口恵里(副・宇宿子供会), 諏訪あゆ子(万屋子供会), 渋谷丹(城間子供会) 地域の方等: 濱崎哲孝(宇宿区長), 山下勝正(万屋区長), 白畑武美(城間区長), 平江さん(土盛区長)
危険箇所 (点検時に撮影した写真を添付する)	 ① 通学路(万屋～学校) 空港に向かって右側はグリーンベルトになってやや歩道も広めだが、交通量の多い朝に児童が登校する左側は歩道もせまく、白線のみである。 ② 生活館側十字路→飛び出しが多い。 ● 空き家が目立つようになり、家屋の老朽化、破損が多い。 ● 小道が多く飛び出し事故の危険性が高い。
危険箇所の状況 (予想される危険事例や要望事項等) ※ 予算を伴うものは、すぐには改善できないものがあります。	【危険箇所①】 交通量が多く空港に向かって左側は歩道も狭い。登下校時の接触事故や小道からの飛び出し事故の可能性はある。 要望①: 交通量の多い朝の登校時は、「右側通行」ではなく、歩道がグリーンベルトになっている左側を登校させたい。 ・グリーンベルトやポールがあり比較的安全のように感じる。 ・城間集落の児童は道路横断の回数が減るため安全である。 要望②: ガードポールの増設。間隔が広いのでもう少し間隔を狭くしたい。 【危険箇所②】 生活館下の十字路は下り坂で、また停止線も消えかかっており、車・児童ともに事故が起きやすく危険である。 要望①: どちらが止まるのかしっかり停止線を書き直してほしい。

通学路における危険箇所報告書

学校名	奄美市立手花部小学校
点検日	令和6年 4月 24 日(水)
点検者 (参加者全員記入)	学校職員： 教頭・安全指導担当 PTA： 地域の方等：
危険箇所 (点検時に撮影した写真を添付する)	① 国道 58 号線,「平線分岐点」(T字路) ② 国道 58 号線,「小勝三叉路」の横断歩道 ③ 集落内国道 58 号線の車両のスピード    左上： ① 右上： ② 左下： ③
危険箇所の状況 (予想される危険事例や要望事項等) ※ 予算を伴うものは、すぐには改善できないものがあります。	① 節田方面から来る車両の見通しが大変悪い。一旦停止場所ではあるが、大変危険である。自転車で通る児童が死角で見えずに、危ない場面がある。できでしたら、点滅信号等の設置を望む。(ロードミラーの修繕を早急に対応していただき有難うございます。) ② 車両通行量も多く大変危険である。朝の登校時は、ボランティアの山口裕吉氏による交通安全指導を行っていただいている。注意喚起し、安常を確認しながら進めているが、下校や帰宅後の横断が危険である。 ③ 見通しが良い直線道であるため、スピードを出す車両が多く、通学路であり、大変危険である。集落内の通学路看板等の設置を望む。 その他 川の増水等が考えられる場所においては、集団下校や引き渡し等考慮する必要がある。

通学路における危険箇所



- ① 平専分岐点の十字路で、死角になっており、横断歩道がないため、危険である。
- ② 手花部小学校過ぎてからの横断歩道ですが、登校見守り隊はいいのですが、下校や帰宅後が危険である。
- ③ 手花部小学校前の 58 号線は、スピードが出やすく、危険箇所である。